

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(9月19日～9月25日)

2022年12月13日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- アレイニク第一外務次官がモンゴルを訪問(9月20日、21日)
- ベラルーシ外務省は、在ベラルーシ・エストニア大使館の員数削減を通告(9月23日)
- ベラルーシでは、ウクライナの露軍占領地域の露への併合に関する住民投票の投票所は開設されず(9月23日)

【ルカシェンコ大統領動静】

- 反体制派ら80人以上から階級剥奪(9月19日付大統領決定第332号)
 - ・東京五輪に出場中にポーランドへの亡命を余儀なくされたチマノウスカヤ陸上選手や、拘束中のレビャドク軍事評論家等が軍や警察官の階級を剥奪された。(9月19日 大統領府、「ゼルカロ(鏡)」)

●楊建強「中信建設(CITIC Construction)」第一副総経理との会談

- ・窒素プラントや、国営「スヴェトロゴルスク・セルロース・段ボール・コンビナート」における製紙工場の建設、農工コンプレックスにおける高度加工の実施等、両国共同プロジェクトの見通しにつき協議。
- (9月22日 大統領府)

【外交】

- アレイニク第一外務次官のモンゴル訪問(9月20日、21日)
 - (1)ビャンバツォグト道路・運輸開発大臣との会談
 - ・運輸分野における協力の現状と見通し、貿易・経済協力両国合同委員会を通じた連携につき協議。
 - (2)ポロルチョローン食糧・農牧業・軽工業大臣との会談
 - ・農業分野における両国共同プロジェクトにつき協議。
 - (3)ザンダンシャタル国家大会議議長との会談
 - ・両国議会の連携強化を含め、幅広く意見交換。
 - (4)第5回ベラルーシ・モンゴル政務協議
 - ・モンゴル側議長はモンフジン外務次官。
 - ・政治・経済・人的交流の分野における二国間協力の

現状につき協議。世界レベル・地域レベルの問題につき意見交換し、国際機関を通じた連携についても協議。

(5)モンゴル企業の代表者とも面談。

(9月21日 外務省)

●在ベラルーシ・エストニア大使館の員数削減

- ・外務省はヒーエサル在ベラルーシ・エストニア大使館臨時代理大使を召喚。国連総会のエストニア代表団にチハノフスカヤ民主勢力代表が含まれていたこと等につき抗議。
 - ・10月1日以降、在ベラルーシ・エストニア大使館の員数が1名となることを通告。在エストニア・ベラルーシ大使館の員数も同様に縮小。
- (9月23日 外務省)

【内政】

●ミンスク郊外で大量拘束

- ・ミンスク市郊外のタボリィ村の市場で、当局が男性70人、女性70人を拘束。
- (9月22日 「ゼルカロ(鏡)」)

●9月23日現在の政治犯の数は1,346人

(9月23日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

【治安・軍事】

●ロシアにおける部分的動員令を受けたベラルーシ要人の反応

- (1)ヴォリフォヴィチ国家安全保障会議国家書記
 - ・動員はベラルーシのことではない。ベラルーシの防衛や立憲体制の防衛のために動員されているのは、

平時に編成されている部隊。

(2)チハノフスカヤ民主勢力代表

・ルカシェンコは既に何度も国民の意思に反する歩みをしているが、もしもルカシェンコがベラルーシの人々を戦争で死なせるために送るようなことになれば、これは、ルカシェンコがベラルーシの各家庭を回ってその手で父や息子を殺して回ることと何ら変わりはない。

・総動員が発令されても応召しないように。もしも既に戦地に送られてしまっているなら武器を置くように。ベラルーシ社会はあなたを支持する。

(3)マケイ外務大臣

・ベラルーシは、部分的動員令に関する露の決定に対し、理解を持って接している。

・ウクライナに西側の武器が供与され、露が集团的西側諸国と戦っているという状況を踏まえると、自国の安全保障の必要に対する露の懸念は理解できる。

(4)ルカシェンコ大統領

・動員令はあくまで露でのこと。メディアを騒がようとしてあれこれ試みられているだけで、動員など一切ない。(9月21日～23日 国営ベルタ通信、チハノフスカヤ氏公式サイト、露タス通信、「ゼルカロ(鏡)」、大統領府)

●ベラルーシ当局によるロシア人男性に対する検査の強化

・情報筋によれば、既に9月21日の時点で、ベラルーシの法執行機関は、動員を逃れるためにベラルーシ入りしたロシア人を特定せよとの口頭の指示あり。日割りで見られるアパート、ロシアナンバーの自動車等を見張り、関係者と連絡を取り、関連文書を確認するよう通達されている。

・ミンスク空港では、警察も加わって、ロシアの旅券を所持する男性に対する検査が始まっている。

(9月22日「ナシャ・ニヴァ(我らの家)」、ドイチェ・ヴェレ)

●ベラルーシから欧州への不法越境の試み

(9月19日～25日)

・リトアニア国境警備局は少なくとも802人を阻止。

・ラトビア国境警備隊は少なくとも50人を阻止。

・ポーランド国境警備隊は少なくとも382人を阻止。

(9月20日～26日 BPN)

【経済】

●9月21日の露での部分的動員令が発令後、ミンスク発の航空券が高騰

(9月21日「ゼルカロ(鏡)」)

●2022年上半期の個人向け送金

(1)国外からベラルーシへの送金

5億3,600万ドル(前年同期4億3,560万ドル)

(2)ベラルーシから国外への送金

9,690万ドル(前年同期1億1,800万ドル)

(9月19日 国立銀行(中央銀行)、「ゼルカロ(鏡)」)

【抗議勢力の動き】

●チハノフスカヤ民主勢力代表のニューヨーク訪問(9月18日～22日)

・国連総会に出席。

・欧州委員長、欧州評議会議長、欧州安全保障協力機構(OSCE)議員会議議長、米州機構(OAS)事務総長らと会談。

・また、エストニア、フィンランド、スウェーデン、ノルウェー、リトアニア、オーストリア、ラトビア、スペイン、ポルトガル、ポーランド等の外務大臣と会談。

(9月17日～22日 チハノフスカヤ氏公式サイト)

【その他】

●ベラルーシでは、ウクライナの露軍占領地域の露への併合に関する住民投票の投票所は開設されず

・ニュースサイト「ゼルカロ(鏡)」編集部が在ベラルーシ露大使館に照会したところ、ベラルーシに投票所はない旨回答あり。

・同編集部はベラルーシ中央選挙管理委員会にも照会するも、書面で改めて照会するよう繰り返すのみで回答なし。

(9月23日「ゼルカロ(鏡)」)

(了)